

## 令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大宮小学校協議会

## 1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

運営に関する計画の最終評価から、学校が様々な取り組みや体験活動を工夫し、学力（特に算数科）について大きく成果が出ていることがよく分かった。体力面では、少し課題がみられると考えるので、教職員一丸となり、取り組んでいってほしい。ホームページや学校だより等で、学校行事や日々の取り組みを積極的に発信ができています。今後も大宮小学校の子どもたちのために引き続き、様々な取り組みに継続して取り組んでほしい。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

## 年度目標：安全・安心な教育の推進

## 【全市共通目標】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。（学力経年調査の質問紙調査（3～6年）において令和5年度93.2%）
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

## 【学校の年度目標】

- 令和7年度末の本校アンケート調査で、「学校は、多様な体験活動を実施している」の項目について、「思う（だいたい思う）」と回答する保護者の割合を、98%以上にする。（令和5年度97%）

達成状況の評価に関しては妥当であると考えます。

学校は、子どもや家庭の課題に丁寧に向き合っている。今後も引き続き、一人一人の子どもを大切にする取り組みを進めてほしい。

不登校の子どもが増加傾向にあるという状況だが、来年度よりよい方向になるように、関係諸機関とも連携をしながら、粘り強く支援を続けてほしい。地域もできることがあれば協力したい。

今年度も、地域とともに避難訓練・防災体験も実施することができ、有意義な時間となった。来年度もぜひお願いしたい。

## 年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

## 【全市共通目標】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。（令和5年度82.3%）
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。（令和5年度84.3%）

<p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 38%以上にする。(令和 5 年度 36.2%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 68%以上にする。(令和 5 年度全国体力・運動能力調査において、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合は、65.4%)</p> <p><b>【学校の年度目標】</b></p> <p>●令和 7 年度末の大阪市学力経年調査及び本校アンケート調査で学校の授業時間以外に、ふだん 1 日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の質問に「全くしない・30 分より少ない」と答える児童の割合を 5 ポイント減少させる。(令和 5 年度は経年調査 28%)</p>
<p>達成状況の評価に関しては妥当であると考えます。</p> <p>ここ数年、学力の結果が大阪市平均を上回っている。今年度の結果として、特に算数科は、研究教科として取り組んだ成果がよく表れていた。今回、6 年生の社会で課題が見つかったが、また、気を引き締めて子どもの指導に向き合っていてほしい。また、体力についても、トップアスリートや講師を招くなどの取り組みを継続して続けていてほしい。地域もできることがあれば協力したい。</p>
<p>年度目標：<b>学びを支える教育環境の充実</b></p>
<p><b>【全市共通目標】</b></p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕</p> <p>○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 95%にする。(令和 5 年度 94%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、まん画や雑誌は除く)」に対して、「全くしない」と回答する児童の割合を 10%以下にする。</p> <p><b>【学校の年度目標】</b></p> <p>●令和 7 年度末の本校アンケート調査で、規則正しい生活に関わる項目(早寝、早起き、朝ごはん、メディア)について最も肯定的な回答する児童(メディアにおいては時間)の割合を、4 ポイント向上させる。(令和 5 年度早寝、早起き 55%、朝ごはん 88%、メディア 1 時間半より多い 40%)</p>
<p>達成状況の評価に関しては妥当であると考えます。</p> <p>学校は、教育環境の充実に向けて積極的に ICT の活用を進めている。この調子で取り組んでいてもらいたい。ただ、学校目標にもあるようにメディア時間はコントロールしていてもらいたい。</p> <p>教職員の勤務時間や健康についても留意していただきたい。</p>

### 3 今後の学校園の運営についての意見

<p><b>【安心・安全】【学力・体力の向上】【教育環境の充実】</b>の成果や課題を分析し、今後の目標設定を明確にして、引き続き子どもたちのために取り組んでほしい。学校長が変わり、これからさらに新しい学校教育を推進し、地域に根差した伝統ある大宮小学校として、充実した教育活動を展開してほしいと期待している。</p> <p>地域も学校のためにできることは連携していきたいと考えている。</p>
--